

授業科目(ナンバリング)	環境デザイン論(CA301) (実践的教育科目)			担当教員	城本 高輝 (実務経験のある教員)		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
美しい空間や街並みは、世界中の観光客を魅了している。観光客は、美しい空間や街並みの中で、自然、気候、文化、歴史、食などに触れながら、これらの調和を大いに楽しんでいる。環境デザイン論では、こうした快適で豊かな持続的人間環境の構築をめざすデザインの基本的な考え方と方法論を理解できるようになることにねらいをおいている。世界の都市から身近な地域まで、様々なスケールで環境デザインの概念や手法について学んでもらいたい。							⑩⑪⑫
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	社会人として必要な環境や景観に関する基礎的知識を有し、実践することができる。				・課題レポート	30%	
情報収集、分析力	さまざまな現代社会の「環境や景観問題」を「自然環境や社会環境」の情報収集を行うことで分析することができる。				・プレゼンテーション	70%	
コミュニケーション力						-	
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
環境デザイン論の専門力について確認・定着のため、課題レポートの提出を求める。その結果に基づき、30%の評価を行う。また、講義で学んだ知識を踏まえ、情報収集、分析力について確認・評価をするため、グループでのプレゼンテーションを課し、その結果に基づき 70%の評価を行う。なお、課題のフィードバックは授業中に適宜行う。							
授業の概要							
環境デザインには、都市や地域の自然、広場、公園、建物などの空間的な関係性を理解し、観光、文化、スポーツ、歴史等を含めた総合的なマネジメントやプロデュースできる能力が必要である。この授業では、担当教員の環境経営、土木、エリアマネジメント、観光戦略における実務経験等を基礎として授業を行う。なぜ今、環境デザインなのかを最初に学び、様々な法体系や環境デザインに必要な基本事項を学ぶ。特に、都市・まちづくりについての重要なキーワードや要素をおさえつつ、具体的な展開手法を説明する。また、国内外の各地域の環境デザインの事例を理解し、実践的なスキルを身につける。授業の終盤には、環境デザイン演習を実施し、表現方法を身につける。なお、フィードバックは授業やポートフォリオを通して適宜行う。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学習時間は、180分である。							
教科書・参考書							
教科書：特になし 参考書：日本の都市環境デザイン1 北海道・東北・関東編 建築資料研究社 日本の都市環境デザイン2 北陸・中部・関西編 建築資料研究社 日本の都市環境デザイン3 中国・四国・九州・沖縄編 建築資料研究社 環境デザインの方法 仙田満 彰国社 指定図書：アレックス・カー著『犬と鬼』／講談社学術文庫							

授業外における学修及び学生に期待すること

何気無い日常生活を通して環境デザインを常に意識してもらいたい。日常の景色の中に空間創造について様々な気づきがあるはずである。

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	授業ガイダンス	授業計画と成績評価の方法及び環境デザイン論の概略を理解する。	予習：シラバスを読んでくる。
2	ポスト近代の都市・まちづくり	環境デザインの概念について説明し、これからの環境デザインのあり方などを講義する。	授業前にテキストの10～26ページを読んでおく。
3	都市の空間構成を読み解く①	農から学ぶ空間秩序	授業前にテキストの28～43ページを読んでおく。
4	都市の空間構成を読み解く②	都市空間の秩序とその諸相	授業前にテキストの44～59ページを読んでおく。
5	都市の空間構成を読み解く③	人びとの生活から都市空間を読み解く	授業前にテキストの60～74ページを読んでおく。
6	協働のまちづくりのしくみ①	協働のまちづくりのあり方	授業前にテキストの76～93ページを読んでおく。
7	協働のまちづくりのしくみ②	コミュニティと地域自治	授業前にテキストの94～110ページを読んでおく。
8	協働のまちづくりのしくみ③	都市のマネジメント	授業前にテキストの111～125ページを読んでおく。
9	協働のまちづくりを担う人材①	まちづくりを支える専門家	授業前にテキストの126～140ページを読んでおく。
10	協働のまちづくりを担う人材②	まちづくりを担う市民	授業前にテキストの141～154ページを読んでおく。
11	協働のまちづくりを担う人材③	自律的まちづくりのきっかけをつくる職能	授業前にテキストの155～171ページを読んでおく。
12	共生のための都市・まちづくり①	自然の摂理を活かしたまちづくり	授業前にテキストの172～183ページを読んでおく。
13	共生のための都市・まちづくり②	都市と自然の共生、人と人との共生のまちづくり	授業前にテキストの184～216ページを読んでおく。
14	課題ミッション提示	課題ミッションを説明する。課題ミッションの要点を理解し、環境デザインの観点で、テキストの情報や近隣の場所等を含め、課題解決策や計画を取りまとめる。	プレゼンテーションの準備
15	プレゼンテーション	環境デザインのプレゼンテーションを行う。	プレゼンテーションの準備